

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	在宅看護援助論演習	1	60	2年次	7月	澄野さとみ 田中富美子 石井美香子
<b>授業概要</b>						
<p>在宅看護におけるかかわる保健福祉制度を理解し、実際にどのように運用されているかを学ぶ。また、在宅ケアにおける連携の重要性とその実際について学ぶ。</p> <p>在宅看護援助論で学んだ技術を実践場面で活用できるよう、在宅での看護援助が導き出せるようなアセスメントと思考過程を修得する。さらに在宅にあるものを用いた看護用品を工夫し、在宅看護に特徴的な看護の創意工夫について学ぶ。</p>						
<b>科目目標</b>						
<p>在宅療養者及び家族の健康上の問題や利用可能な社会資源をアセスメントし対象に応じた計画の立案、在宅で生活する対象に応じた看護技術の知識技術を学ぶ。また、在宅看護活動における基本的な態度を養う。</p>						
<b>使用教材</b>						
<p>テキスト：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院</p> <p>参考文献等：国民衛生の動向，医療保健福祉ガイド，福祉・医療関係相談支援マニュアル</p>						
<b>評価</b>						
筆記試験、レポート、その他学習への取り組み状況で評価する						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	<p>1. 地域で生活する人々を支える制度と社会資源 I</p> <p>1) 社会資源活用における看護師の役割</p> <p>2) 地域で生活する人々を支える様々制度</p> <p>(1) 生活保護制度</p> <p>(2) 国際生活機能分類</p> <p>(3) 身体障害者、知的障害者、精神障害者を支援する制度 身体障害者手帳 精神障害者保健福祉手帳 療養手帳</p> <p>(4) 難病患者を支援する制度 難病の行政対象の範囲 特定疾患治療研究事業による医療費の公費補助制度 子どもを対象とする公費負担制度 小児慢性特定疾患治療研究事業</p>					講義
4時間・2回	<p>2. 地域で生活する人々を支える制度と社会資源 II</p> <p>[課題学習]</p> <p>自分たちの住む街の様々な支援や制度</p> <p>*熊本市または周辺市町村の様々な保健医療福祉サービスについて調べ、在宅療養者が利用できる支援や制度の実際を学ぶ</p>					講義 演習
4時間・2回	<p>3. 在宅ケアの連携とマネジメント</p> <p>1) ケアシステムにおける看護職の役割</p> <p>2) 地域・在宅ケアシステムの構築の必要性</p> <p>3) 在宅看護におけるケアマネジメント</p> <p>4) 地域包括ケアシステムにおける看護の役割</p> <p>5) 関連職種・関連機関との連携</p> <p>6) 多職種との連携会議の企画運営と必要性</p>					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	在宅看護援助論演習	1	60	2年次	7月	嶮野さとみ 田中富美子 石井美香子
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	4. 在宅看護における継続看護 1) 継続看護と看看連携 2) 退院支援の仕組み 3) 継続看護における病院で業務に従事する看護師の役割					講義
3時間・2回	5. 訪問時の姿勢と態度 1) 訪問看護の目的と役割 2) 訪問看護における看護過程の特徴 3) 訪問看護における記録の意義と記載時の留意点 4) <b>[校内演習]</b> 初回訪問とそのプロセス 訪問看護時の看護者としての姿勢・態度					講義 実技
10時間・5回	6. 在宅看護の展開方法 1) 在宅看護過程の展開 2) 日常生活動作に関する支援 3) 日常生活動作 (ADL) と手段的日常生活動作 (IADL) 4) 在宅看護のアセスメント視点					講義 課題学習
18時間・9回	7. 対象に応じた生活支援-1 1) 食生活、摂食・嚥下に関する支援 2) 胃ろう 3) 清潔に関する支援 4) 褥瘡予防と褥瘡ケア (スキンケア) 5) 排泄に関する支援 6) 移乗・移動に関する支援 (1) 活動の制限と生活行為への支援 (2) 補助具 (3) 住宅改修 <b>[実技]</b> 食事の援助：自助具、ポジショニング、経管栄養 清潔援助：洗髪、陰部洗浄 排泄援助：ストーマケア (人工肛門、人工膀胱) カテーテル管理 活動：ポジショニング、移動・移送					講義 実技
10時間・5回	8. 対象に応じた生活支援-2 1) 在宅酸素療法 (在宅酸素機器の実際：機器の特徴、使用方法、日常生活上の留意点について、実際の機器を用いて学習する) 2) 在宅人工呼吸器療法 3) 薬物療法に関する支援					講義 実技
1時間・1回	筆記試験					
備考 在宅看護の展開方法、対象に応じた生活支援-1、対象に応じた生活支援-2の事例疾患として、脳梗塞、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、パーキンソン病等、また認知症のある事例などをとりあげる予定である。 講義開始までにこれらの解剖・生理、疾患、検査・治療・看護について学習して臨んでください。						